

# 令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

学校番号 27006

令和8年3月

札幌市立手稲宮丘小学校

○本年度の重点

ともに、すすむ、学校～仲間と豊かに関りを持ち、よりよく生きようとする子どもの育成～

○自己評価結果に対する学校関係者評価

評価項目	評価内容	具体的な取組	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
① 主体的に学ぶ子の育成	1. 基礎的な学ぶ力を伸ばす子どもを育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学級統一の「学習の約束」</li> <li>・安心して学べる支援体制の充実</li> <li>・専科指導、少人数指導</li> <li>・総合的な学習の時間のカリキュラム</li> </ul>	A	「学習の約束」については、「引き続き各学級に向けて指導していきます。職員間での情報共有が行われていることで支援体制の構築へつながりました。今後も全職員で情報を記録し、残していくことを定着させていきます。次年度も引き続き、専科指導、少人数指導を続けていきたい。また、今後3～6年生の系統性を踏まえカリキュラムを見直していきたい。	A	A
	2. 課題意識を持ち、他者との関わりの中で、自分の考えを表現しながら主体的に学ぶ子どもを育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究推進（3か年計画・教科部会）</li> <li>・研究実践（部内研・全校研）</li> <li>・研究推進（ちよこ研・外部研修）</li> </ul>	A	3つの部会（低中高）で多くの先生が授業づくりに参加することができました。他校から授業協力者を呼び、指導主事に助言者として来校していただくことで、とても実り多い実践となりました。15分間程度の「ちよこ研」では多くの職員が毎回学びを実感しています。とはいえ、回数をもとの程度にするかは検討していきます。	A	A
	3. 自ら学ぶ習慣が身に付いた子どもを育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習「学びのススメ」</li> <li>・自主学習ノートの作り方</li> <li>・Chromebook持ち帰り</li> </ul>	A	家庭学習について保護者に大切にしてほしい関わり方などを今後も伝えていきます。自主学習ノートの紹介をホームページで行うことで、モデルを示しました。掲載された児童の励みにもなっていました。chromebookの持ち帰りは「基本的に金曜日」であり、固定ではないこととします。	A	A
学校関係者評価委員による評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の約束、少人数指導、授業研究の充実、家庭学習への働きかけなど、学校全体で継続的に取り組んでいる。</li> <li>・短時間研修や外部助言者の活用など、教員の授業力向上に向けた取組は有効。今後は、取組の成果を具体的に検証し、系統的なカリキュラムの見直しに繋がっていくことに期待。</li> <li>・効率的な情報伝達については、GWSを活用してほしい</li> </ul>				
② 豊かな心を育む子の育成	4. 時・場所・場合に応じて、気持ちのよい挨拶や話し方をする子どもを育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期始まりの挨拶指導、あいさつデー</li> <li>・生活のめあて振り返り</li> <li>・始業式・終業式・離任式・全校朝会</li> </ul>	A	挨拶については、児童会活動と連携していくことも検討していきます。廊下歩行「みしあーる」の取組は一定程度の効果が見られたので次年度も継続していきます。全校朝会をテレビ放送から体育館に集まる形に戻し、話しの聞き方、入退場の仕方などを育てていきたいです。	A	A
	5. 思いやりの心をもって生活する子どもを育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館指導</li> <li>・クリーン作戦</li> <li>・クラブ活動</li> <li>・ブロック交流</li> </ul>	A	休み時間の図書館の使用状況を見守れるよう、休み時間の看護当番を見直しました。図書館に限らず、特別教室を使用するときは「来た時よりも美しく」を日常的に指導していきたいです。6年間の中で様々な学年と交流できるよう、次年度以降も引き続き行いたいです。	A	A
	6. 考えを出し合い、仲良く力を合わせてがんばる子どもを育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃指導・給食指導</li> <li>・学級の活動（係活動等）</li> <li>・委員会</li> <li>・学校行事</li> </ul>	A	担当グループ全員が最後まで責任をもって清掃できるよう、全ての作業後に集まることを大切にしていきます。これからもおいしい給食と食に関する情報を発信していきます。音楽発表会へ変更がありましたが大きな混乱もなく無事に実施できました。教育課程を見直すきっかけにもなりました。	A	A
学校関係者評価委員による評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や清掃、図書館利用、異学年交流など学校生活全体を通して豊かな心を育む取組が進められている点は評価できる。</li> <li>・挨拶をしてくれる子は多い。図書室を利用する子が多いので、もっと居心地のよい空間になればと思う。</li> <li>・演劇をやりたいという声も聞えてくる。一方、楽器の扱い方についてももっと学びがあればうれしい。</li> </ul>				
③ 健やかな体を育む子の育成	7. 進んで体を動かすことを楽しむ子どもを育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中、昼休み遊びの割当、看護</li> <li>・なわとびデー</li> <li>・マット週間・どびばこ週間</li> <li>・運動会・全校遠足</li> </ul>	A	何らかの事情で休み時間の看護に行けないこともありますが、学年の先生、担任外が学校全体の指導者という意識のもと看護にあたります。マット、跳び箱運動週間は安全面に気を付け、来年度も継続していきます。遠足の時期はやはり年間予定全体で考えると6月になります。年々暑くなっているので、時間の短縮を検討します。	A	A
	8. 心や体の健康や安全を意識し、よりよい生活ができる子どもを育てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食指導・保健指導</li> <li>・心と性に関する指導</li> <li>・各種訓練・安全管理</li> <li>・いじめ防止対策委員会・シャボテンログ</li> </ul>	A	子どもの対応などについては担任以外の職員も一緒に適宜取り組んでいます。いじめ防止対策委員会や学びの支援委員会でもより具体的な話し合いをしていきたいです。シカ対策、クマ対策については今後も教育委員会と連携して対策を考えていきます。	A	A
学校関係者評価委員による評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かす機会の確保や安全性への配慮、心の健康やいじめ防止への組織的な対応など、児童の健やかな成長に向けた取組が行われている。</li> <li>・費用はかかるがもっと充実した給食が提供できたらと思う。性教育は遅れすぎなので、指導要領を守る程度では現実には追いつかない。</li> <li>・いじめについては、「犯罪である」という意識が大切</li> </ul>				
④ その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革・校務組織</li> <li>・GIGA関係・物品事務</li> <li>・公費私費会計など</li> </ul>	-	学校のネットワークが変更になり、それに伴ってデジタル教材や行事の資料を整理しました。学年で引き継いでいき、業務の効率化につなげたいです。職員会議や職員集会は、提出された資料から随時掲載し事前に資料を確認できるようにするなどして、なるべく短時間で終わるようにしていきます。	A	A
学校関係者評価委員による評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料のデジタル化や情報共有、会議の効率化など、業務改善に向けた取組が進められている</li> <li>・担任の先生以外も子どもたちのトラブルの解決に取り組んでおり、安心して子どもを任せられるチームだと感じる</li> <li>・図書館が担う役割も見直されると嬉しい。枠組みも大切だが、より多くの保護者の力も必要になる</li> <li>・教育の本質に疑問をもつような改革の仕方であれば踏みとどまってほしい。外の世界とつながる学校であってほしい。ここ数年は閉鎖的になったと感じる。</li> </ul>				